



【釜山支店】

「韓国学生」就職戦国時代 ～前編～

1. はじめに

皆さんは、最近身の回りで「働いている外国人が増えた」と感じることは有りませんか？わが国では人手不足（＝働き手不足）が叫ばれて久しく、日本人労働者が不足している職種では、外国人労働者が代わりに就業することが当たり前となっています。

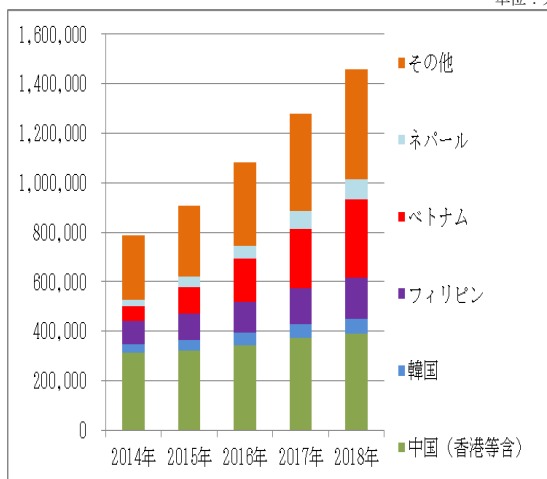
実際に、外国人労働者数の推移を見てみると、2014年の788千人から、2018年には1,460千人（1.85倍）まで増加しています。企業の人手不足は当面解消する見込みがないと予測されているため、外国人労働者数は増加傾向で推移すると予想されています。

翻って韓国では、若者の失業率が高い状態が続いていることが社会問題となっています。OECD（経済協力開発機構）の調査によれば、若年失業率※は約10%（2018年）と日本の約2.5倍の水準で高止まりしており、経済状況が更に悪化する流れの中、若年層の就職難が継続する見通しとなっています。

そこで、今回は韓国若年層の中心となっている韓国学生就職動向に加え、韓国学生就職の積極的な採用を推進している日本企業の状況についてお伝えしていきます。

※就業の意思を示しているが、就業に至っていない15～24歳の割合。

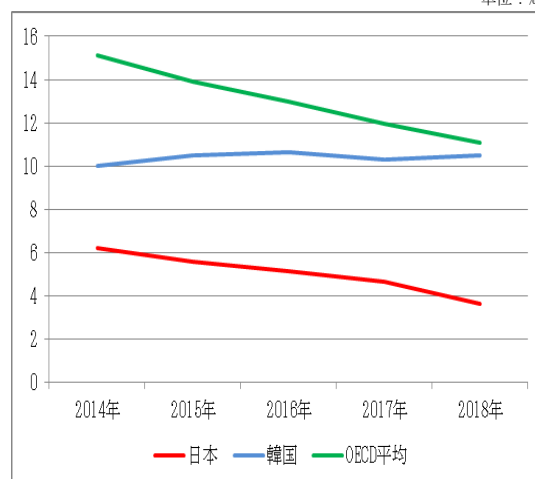
【表1 日本での外国人労働者数推移】単位：人



出典：厚生労働省

【表2 若年失業率推移】

単位：%



出典：OECD

2. 韓国人学生の就職問題

韓国では、財閥系企業を中心とする大企業と中小企業の賃金格差（福利厚生などを含む）が大きいため、多くの学生が大企業への就職を希望しています。しかし、全就業者のうち大企業※の就業者の割合はわずか9.4%程度で、就職の前提として有名大学を卒業していることが必須となっている等、狭き門である実態があります。

※従業員数300人以上の企業を大企業と定義（2018年時点、韓国雇用労働部統計による）。

そのため韓国では受験戦争が過熱しており、幼いころから進学のために勉強漬けの毎日を強いられます。さらに大学に進学しても、就職のための国家資格取得や語学テスト受験といった苛烈な競争が続きます。このような世相を反映し、韓国人の若者の間では、「ヘルチョソン（helljoseon、地獄の朝鮮という意味）」という造語が流行しています。

大企業に就職できなかった、もしくは有名大学に進学できなかった学生は、賃金格差を勘案し、韓国国内の中小企業就職を避け、就職浪人となる傾向が強まっています。これは、給与水準などの労働条件が良い職場で働きたいという学生意向の表れであり、若年失業率が高止まりしている主因となっています。

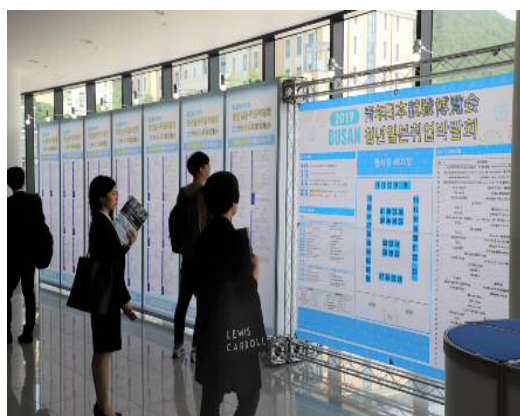
3. 日本企業の動き

このような状況を打開し、若者の就職機会を確保する活動の一環として、韓国では官民一体となって韓国国外への就職を推進しています。大韓貿易投資振興公社（KOTRA）は定期的に韓国国外企業を招待し就職博覧会を主催している他、韓国産業人力公団はK-MOVEという国外就職専用プロジェクトを立ち上げ、学生支援に乗り出しています。

この動きを活用し、多くの日本企業が優秀な韓国人学生を積極的に採用しています。大韓貿易投資振興公社（KOTRA）が主催する就職博覧会では、例年100社を超える日本企業が参加し、多くの韓国人の採用実績に結び付いています。

業種としては、日本語能力を活用できる観光業や、専門的な知識が要求されるIT企業での採用実績が多い状況にありますが、人手不足を背景に、製造業や卸売業、小売業等の幅広い業種の企業が韓国人材を求め、採用活動を行っています。

【写真1 就職博覧会を訪問する学生】



【写真2 説明会の様子】



出典：釜山外国語大学提供

【表3 定期開催されている就職博覧会】

日程	名称	主催	参加企業数*	備考
6月	外国人投資企業採用博覧会	産業通商資源部	約100社	日本企業のみ招待
6月	日本就職博覧会	釜山外国語大学	約50社	日本企業のみ招待
8月	日本就職合同博覧会	釜山広域市	約50社	日本企業のみ招待
11月	日本就職博覧会 (JAPAN JOB FAIR)	大韓貿易投資振興公社	約100社	2019年度 ASEAN企業同時招待

※関係団体からのヒアリング等により作成（参加企業数は2018年実績を参考）

4. おわりに

以上のように、韓国では就職機会が限定されているため、大企業に就職できなかった若年労働者が海外を志向している状況にあります。また韓国では一般的に、入社後すぐに即戦力としてのパフォーマンスを求められることから、多言語対応可能で、ITなどの特殊な技術を習得している新卒学生が多く見られます。そのため、優秀な人材を求めている日本の企業が説明会や採用活動を積極化しており、多くの韓国人が、既に日本企業で活躍しています。

韓国でのビジネス展開中の方のみならず、今後海外展開を考えていらっしゃる方も、貴重な新戦力獲得の機会となり得る韓国新卒市場に、是非一度アプローチされてはいかがでしょうか。

当店では、就職博覧会の紹介や韓国現地でのサポート活動をはじめ、韓国ビジネスをお考えの皆様のお役に立てる数多くの支援メニューを用意しています。ご興味のある方は、是非当店までご連絡をお願いいたします。

今回は、韓国人学生が希望する職場環境や、実際の就職活動の様子をお伝えいたします。

(山口銀行釜山支店 小林 正典)

【参考文献】

OECD 若年失業率

<https://data.oecd.org/unemp/youth-unemployment-rate.htm>

厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000472892.pdf>

グリーンポスト코리아 韓国の産業構造について

<http://www.greenpostkorea.co.kr/news/articleView.html?idxno=111854>

東洋経済社 韓国の若者6人が語る「ヘル朝鮮」と「対日感情」

<https://toyokeizai.net/articles/print/295269>

E デイリー 2019 グローバル雇用大展（博覧会）開催状況について

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=04040966622685392&mediaCodeNo=257&OutLnkChk=Y>

モーニングトゥデイ 就職博覧会について

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2019111209102827238>